

2024.7.3 (水) 開催

正会員・賛助会員向け WEB セミナー

# 「口腔がんの治療の現状、診断の重要性」

東京歯科大学口腔腫瘍外科学講座教授・口腔がんセンター センター長 野村 武史

口腔がんは、早期の場合、患者のほぼ100%は「口内炎ができた」と自覚しています。

一部の患者は、治療薬を求めて医療機関を受診しますが、医療機関を受診せずに口腔がんが進行した結果、「口が開かない」、「舌が動かない」、「なにかおかしい」、という日常診療で遭遇する患者とはおよそ異なる訴えで来院します。しかしこの時点で、すでに手遅れのことが多いことも事実です。

一方、口内炎を訴えて来院した場合、まずはステロイド軟膏を処方する、歯科用レーザーを照射するなど、多くの歯科医院で初期対応を行います。その後の経過を確認しない場合にも、やはり手遅れとなり高次医療機関を受診することが多々あります。口腔がんは、月単位で進行していきます。歯科医療従事者には、一刻も早く根治治療へと移行するために、的確な細胞診の実施と、粘膜観察を実施してもらいたいと考えています。今回の講演では、口腔がん治療の現状、診断の重要性について解説します。

## 講師略歴(保有資格等)

2006年4月 東京歯科大学口腔外科学講座 講師  
2009年7月～2010年6月 カナダ・ブリティッシュコロンビア大学歯学部留学  
2011年7月～2018年3月 がんプロフェッショナル基盤推進プランコーディネーター  
2013年7月 東京歯科大学口腔外科学講座 准教授  
2014年6月 東京歯科大学口腔がんセンター 准教授  
2015年4月 東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学講座教授  
2020年4月 東京歯科大学口腔腫瘍外科学講座教授  
口腔がんセンター センター長  
現在に至る



野村 武史

日本口腔診断学会理事長／日本口腔内科学会理事・指導医／国際歯科研究学会日本部会(JADR)理事／日本口腔外科学会代議員・指導医／日本口腔科学会評議員・指導医／日本口腔顔面痛学会代議員・指導医／日本口腔腫瘍学会口腔がん認定医・評議員／日本頭頸部癌学会評議員／日本がん治療認定医機構認定医(歯科口腔外科)

## 開催概要・受講方法

【開催日】 7月3日 (水)  
【開催時間】 19:00～20:00  
【開催方法】 ZOOMウェビナー方式

受講には事前登録が必要です。以下の登録用URLもしくはQRコードから登録用フォームに必要事項を記載し、お申込みをお願いします。

【登録用URL】  
[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_rsuZGSQIT36VQ3exiAHrww](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_rsuZGSQIT36VQ3exiAHrww)



OCEDN

口腔がん早期発見システム全国ネットワーク  
Oral Cancer Early Detection Network

